

第3種郵便物認可

コクネ、組み電線内製化

グループカ、ユニット拡販

【名古屋】コクネ製作（愛知県西尾市、宮島佑介社長）は、ワイヤハース（組み電線）の生産能力向上のため一貫生産体制を強化する。同社は、半導体製造設備向けなどの純物生産から加工・組み立て、部品の調達までをグループで一貫生産できる。このほか、ワイヤハースを手がける河合光機（浜松市浜名区）をグループ傘下に収め、白（銅）銅線を可能にした。ワイヤハースと純物を合わせたユニットでの受注を増やし、2024年12月期に売上高で23年12月期比約1割増の収益増を目指す。



グループの一員となった河合光機

コクネ製作は、主に半導体不特定用途が難半導体関連機器向けや工作機械向けの純物部品を手がける。グループ企業の古久根（愛知県豊田）が製造した純物をコクネ製作が加工し組み立て、ユニットで販売する際は部品調達も行う。

ユニット受注では、同社が部品調達や在庫を管理するため、顧客は総合的なコストダウンにつなげられる。ユニットの提供でもグループでの一貫生産が強化されたが、さらに競争力を高めるため、近年の

また自動化が難しいワイヤハースの製造では人手不足も課題だが、グループとしての採用活動が可能となり「グループ化後から新採用が増えてきている」（宮島社長）と、シナジー（相乗効果）が生